

Q&A・・・「ソフトウェア開発の業務手順改善等について」

当試験場では、皆さんからの技術相談に研究職員がわかりやすく回答、アドバイスをしていますので、どうぞお気軽にご相談ください。以下相談事例をご紹介しますので、ご利用の際の参考にしてください。【相談・照会先：ものづくり支援センター工業技術支援グループ TEL:011-747-2345（ダイヤルツ）】

Q 中小IT企業ですが、社内のソフトウェア開発業務手順の標準化や改善を検討する際に、参考にできる情報はないでしょうか？

A ソフトウェア開発業務の枠組み（ソフトウェア開発プロセス、以下プロセスと記載）を定めた標準には、国際規格である ISO/IEC 12207（JIS X 0160）やそれを国内向けに修正した「共通フレーム2013」¹⁾などがあります。しかし、これらの標準は、ソフトウェア開発の関連業務を網羅した規格であり、中小企業で実践するにはやや規模が大きすぎる内容です（例えば、共通フレーム2013は8分野で合計36個のプロセスを定義しています）。

ISO/IEC 29110 シリーズ、通称「VSE標準」は、小規模組織（Very Small Entities、概ね25人未満）で活用することを目的として、特に重要となる必須事項を抽出し取りまとめた、コンパクトなプロセス標準です。

VSE標準には、対象とする業務や組織の規模などに応じていくつかの「プロファイル」が用意されています。特にVSE「基本プロファイル」は、「ソフトウェア実装プロセス」と「プロジェクト管理プロセス」の2つのプロセスのみからなるシンプルな構成（図1）であり、中小IT企業が社内のプロセスについて考える際の出発点として参照するのにちょうどよい規模と内容となっています。また、VSE標準にはプロセスやアクティビティの内容が拡張さ

れた「中間プロファイル」「高度プロファイル」なども用意されており、段階的に導入していくこともできます。

一般の国際規格文書は有償で販売されていますが、VSE標準の規格文書群のうち企業等の利用者を対象とする部分（第1部:概要、第5部以下のガイド文書群）については小規模組織での活用促進のために無償で公開されており、ISOウェブサイト²⁾から入手することができます。また、日本語で書かれた解説書籍³⁾、プロセス実践を支援するための文書テンプレートやツール等を取りまとめた展開パッケージ⁴⁾なども提供されています。

当場は、VSE標準の規格審議を担当する国内小委員会の活動にも参画しております。社内のプロセス改善等で VSE標準の活用に興味がある企業の方がおられましたら、ぜひご相談下さい。

（産業システム部 堀 武司）

- 1) IPA/SEC編：共通フレーム2013 ～経営者、業務部門とともに取り組む「使える」システムの実現～、（独）情報処理推進機構、2014
- 2) <http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards>
- 3) VSE研究会編：VSE標準導入の手引き（改訂版）、情報サービス産業協会、2019
- 4) 半田剣一ほか：Basic Profile 用プロセス展開パッケージ、<http://sites.google.com/site/swtoolchain>

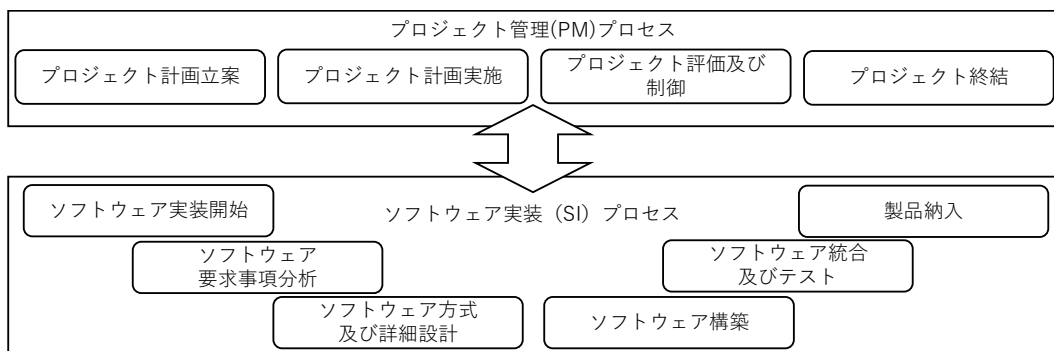


図1 VSE標準（基本プロファイル）に含まれるプロセスとアクティビティ